

NEW 墜落制止用器具



フルボディハーネス

早期予約キャンペーン受付開始!!

2019年
3月31日
受注分まで

! 2019年2月に規格が改正されます。注文殺到による納期遅延が予想されます。お早めのご注文を御検討下さい。納期は都度ご確認をお願い致します。

■改正のスケジュール 2019年2月制定予定



フルボディハーネス

TITAN HORIZON™

肩・腰・尻当てベルト：幅40mm ポリエステル
胸ベルト：幅25mm ナイロン
肩バックル：スチール
腰バックル：ワンタッチバックル(アルミ合金)
D環：スチール
休止フック掛け×2コ・D環固定板・ベルト止め・ベルト端未留め：樹脂

ショルダーパッド：ナイロン

使用可能な質量
100kg 以下

重量：約990g*1

サイズ*2： M L

[HORIZONは、作業ベルトとの併用を推奨します。]



PAHN-10A-BL型(ブラック)

PAHN-10A-SI型(シルバー)

*1 ショルダーパッドの重量(約110g)は含まれません。*2 ご注文の際には型番の末尾に[-サイズ]を付けてください。サイズのご指定がない場合は「M」でのお届けになります。身長160~180cmの範囲で、おおよそ標準的な体重の方は「M」のベルト長さを調整することでご使用いただけます。

腿ベルトの構造

フラットに配置された腿のベルト構造。束縛感が少なく、脚を大きく開きやすい事やそのシルエットから建設業ユーザーより支持を得ています。



骨盤ベルト
墜落阻止時の股間への負荷を緩和。

スライドループ

作業ベルトを締めてもハーネスのベルトが体の動きに合わせてスライドするのでしゃがむ、かがむ等の動作でもベルトが突っ張らず、動きやすくなっています。



Point 持ち運びに便利なバッグ付き



スタッフバッグ

ベルトカラーと同色のバッグに梱包しお手元にお届けします。開口部が大きく開くロール式で留め具はワンタッチバックルを採用。巻く回数で容積の調整が可能です。窓に封入のリーフレットには所有者の情報を書き込むスペースを設けて管理しやすくする等、付属品でありながら使い勝手にもこだわったアイテムです。素材：ナイロン

作業ベルト(別売り)



ベルト：幅50mm × 1,200mm
ナイロン
バックル：アルミ合金
重量：約210g

PHAB-BL型(ブラック)

PHAB-SI型(シルバー)

シルバーとブラックの2色。バックルカラーは、通常とは異なるスモークシルバー。

巻取式ランヤード(別売り)

ロック装置付き 墜落制止時にストラップの繰り出しを瞬時に停止する機能を有することを指します。



シングル



ロック装置付き巻取器 タイプ1ランヤード

HL-MR型



短尺&小型巻取器のリコロをリニューアル。ボディの容積を約15%削減しました。

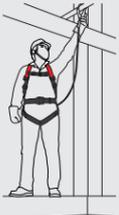
- 巻取器：樹脂製ケース
- ストラップ：幅17mm アラミド芯入りPETロン
- 全長：約1,520mm (ストラップ収納時 約600mm)
- ショックアブソーバ：第一種
- フック：No.56 (J環付き 軽量タイプ)
- D環側コネクタ：DJMR環(回転機能付き)
- 重量：約790g

フルハーネスへの装着時の収まりを考慮し予めストラップを約50mm引き出しています。また、ストラップには巻取器に引き込まれる張力がかかっているため常に最短の長さで使用ができ、落下距離を低減させます

安全帯の分類と名称

- ・省令により安全帯の名称は「墜落制止用器具」となります。(ただし安全帯という言葉を使用続けることは差し支えありません。)
- ・墜落制止にはフルハーネス型を用いることが原則です。

フルハーネス型



種別	用途による種類	種類	ショックアブソーバの種類	ランヤードの種類
A種	墜落制止用器具	フルハーネス型	第一種	タイプ1
			第二種	タイプ2

ショックアブソーバの種類により「タイプ1」と「タイプ2」に大別されます。下記【フルハーネス型用ランヤード】と合わせてご覧ください。

【フルハーネス型用ランヤード】 作業中のフックの取り付け位置や落下距離、性能の基準により「第一種」と「第二種」があります。

ショックアブソーバの種類	フックの取り付け位置	自由落下距離	基準	
			衝撃荷重	ショックアブソーバの伸び
第一種	腰より上の位置	1.8m	4.0kN 以下	1.2m 以下
第二種	上記及び足元付近まで	4.0m	6.0kN 以下	1.75m 以下

実際の使用状況を考慮し、タイプ1については1.8mを超える自由落下距離で性能試験を行います。タイプ2のフック取り付け位置は足元までを想定し、規格の要求値に基づいた設計が行われますが、タイプ1と比較し衝撃荷重と落下距離は増えます。

胸ベルト型



フルハーネス型は、胸ベルト型と比較して落下距離が長くなる傾向にあります。作業床の高さが6.75m以下で、墜落時に地面に到達する危険のある場合には胸ベルト型の使用が認められます。

種別	用途による種類	種類
B種	墜落制止用器具	胸ベルト型

※ 一般的な建設作業の場合は5m以上、柱上作業等の場合は2m以上の箇所では、フルハーネス型の使用が推奨されます。

胸ベルト型には、必ず胸ベルト型用のランヤードを使用して下さい。